

本当に「ジハード」はテロリズムの根源なのか

～インドネシアのイスラーム学校と慈善団体の実態調査～

政策科学科 三年 下之園 実希

国際政策文化学科 三年 今中 恵

政策科学科 三年 富澤 亮太

研究目的

近年世界中でイスラーム過激派によるテロが起こっており、我々はジハードという言葉
を耳にするようになった。ジハードとは、日本でよく「聖戦」と訳されるイスラームの教
えのことである。アメリカをはじめとする国際社会ではジハードは武力を用いた戦いと認
識されることが多く、日本国内でもジハードはテロと理解される傾向がある。事実ジハー
ドの名の元にテロは起こっており、2001 年に発生したアメリカ同時多発テロ(9. 11)など
はその典型的な例である。では本当にジハードはテロの根源なのであろうか。イスラーム
は危険な宗教なのか。本研究はこれらの疑問を明らかにすることを目的とする。

活動内容

事前の文献調査でジハードの本来の意味は「奮闘努力すること」であることが明らかと
なり、ジハードの思想を元に慈善活動を行うムスリムがいることも分かった。事前研究を
踏まえ、ジハードの概念は歪められて伝えられているのではないかと、また、ジハードは武

力行使と結びつけられる要因があるのではないかという仮説を立てた。仮説は、2017 年度 8 月の加藤ゼミインドネシア夏合宿におけるムスリムへの聞き取り調査と、プロジェクト奨学金で訪れたイスラーム学校とムスリムの社会活動団体での調査を元に検証した。

結論

調査では今まで知りえなかったジハードの新たな側面が見え、武力を用いた戦いのジハードは様々なジハードのうちのひとつにすぎないということが明らかとなった。ジハードの元にテロが起こる理由も明らかとなった。また、ジハードの研究は、本研究の筆者達が日本の歴史について考えるきっかけともなった。